



		計画時の想定	備 考	現時点での状況（変更点）	分析
事業効果の定量的分析	費用便益分析	・ 事業内容が歩道設置による現道拡幅であり、採択当時、費用効果分析の手法が確立されていない。		同左	
	その他の指標（代替指標）	・ 混雑度 1.44 ・ 旅行速度 17.3 Km/hr （H6 センサス）		・ 混雑度 1.32 ・ 旅行速度 28.2 Km/hr （H11 センサス）  国道 171 号との交点部分の歩者分離及び右折レーン設置を推進したことで、旅行速度向上。	早期の局部改良により、事業効果の発現が見られる。H17.5 には国道 171 号から福井郵便局前交差点までの約 650m 区間の歩道設置が完了したことで、更なる交通円滑化が図れた。
事業効果の定性的分析	安全・安心	・ 歩車道分離による交通安全機能の向上	・ 受益者 地域住民、学童、道路利用者 開発区域住民	同左	変更無し
	活力	・ 開発区域の支援 ・ 地域間交流連携の強化、物流の効率化の支援 ・ バス路線の利便性向上	・ 受益者 地域住民、道路利用者 開発区域住民	同左	変更無し
	快適性	・ 沿道地域への移動円滑化	・ 受益者 地域住民、道路利用者 開発区域住民	同左	変更無し
	その他	・ 旅行速度の向上	・ 受益者 地域住民、道路利用者 開発区域住民	同左	交差点改良 8 箇所の内 4 箇所（右折レーン設置箇所 14 箇所の内 7 箇所設置済）の改良が完了したことで、交通の円滑化が図られた。
自然環境等への影響と対策	本路線の整備により大気質、騒音、振動等の影響は微少。 また、歩車道分離、右折レーン設置等により、旅行速度の向上が図れ、大気質への負荷物質の排出量の抑制に寄与するものとする。			同左	変更無し
その他特記すべき事項	<p>事業区間は通学路。供用済区間の終点である福井郵便局前交差点から、福井小学校・高等学校までの区間（約 550m）は安全性の早期確保の観点から、重点的に歩道整備及び交差点改良を実施中。福井小学校・高等学校から府道忍頂寺福井線までの区間は、片側に既設歩道があり、緊急性の観点から投資計画を変更し、国際文化公園都市の中部・東部地区の進捗状況を見据え整備期間を順延。</p> <p>1 ) 国道 171 号～福井郵便局交差点 L = 650m （供用済：一部暫定形） 中川原橋整備済</p> <p>2 ) 福井郵便局～福井小学校等交差点 L = 550m （重点整備中）</p> <p>3 ) 福井小学校等交差点～府道忍頂寺福井線 L = 400m （整備順延区間） 佐保川橋整備済</p> <p>重点整備中の区間は、緊急性を要するため、早期に暫定供用の実施予定であるが、完成形施行は国際文化公園都市の進捗を見据えて順延。 1～2 区間（L=1,200m）の用地進捗率：73%</p>				